

ローダウンフロントフォークスプリング 取扱説明書

製品番号 06-06-0004

適応車種	PCX (JF28-1000001 ~ 1099999) (JF28-1100001 ~) (JF56-1000001 ~) (JF81-1000001 ~)
	PCX150 (KF12-1000001 ~) (KF18-1000001 ~) (KF30-1000001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合やこの取扱説明書に記載されている方法以外で取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎当製品を装着した場合、マフラーと地面の距離が近くなります。カーブや段差等通過時にマフラーが地面と接触する恐れがありますのでご注意ください。
- ◎当製品を装着した場合、ノーマルサイドスタンドがご使用出来ません。ノーマルセンタースタンド、又は弊社製アジャスタブルサイドスタンド (JF81/KF30 は 06-13-0076、JF28/JF56/KF12/KF18 は 06-13-0051) をご使用して頂く必要があります。
- ◎当製品を装着した場合、フロントが下がり、センタースタンドが解除されやすい方向になりますので、斜面等に駐車される場合は、フロントを斜面上方向に向けて駐車するようにして下さい。
- ◎車種により、カラーの取り付け仕様が異なりますので、ご注意ください。
- ◎不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

～特徴～

- 乗車時の足付きを向上させる事が出来、街乗りでの信号待ちやタンデム乗車時の安定性を高めます。又、スタイル変更が可能になり、ストリートスタイルにお薦めの車両イメージに仕上がります。
- 弊社製ローダウンリアショック (06-04-0102、06-04-0103) と同時装着する事でさらにストリートスタイルにお薦めの車両イメージに仕上がります。
- 付属のアルミ削り出しカラーの組み合わせにより、高さ調整が可能です。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。（トラブルの原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラーは高温になっています。近くにガソリン等の危険物や燃えやすい物を絶対に置かないで下さい。（火災につながる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	フロントフォークスプリング	2	51400-KWN-T00
2	カラー 10mm	2	51401-KWN-T03
3	カラー 20mm	2	51401-KWN-T13

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

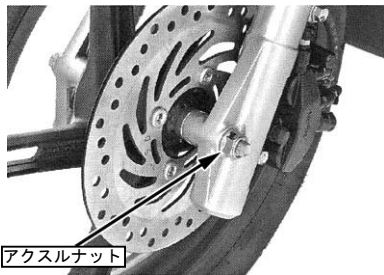
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

水平な場所でセンタースタンドを立て、車体を支えます。

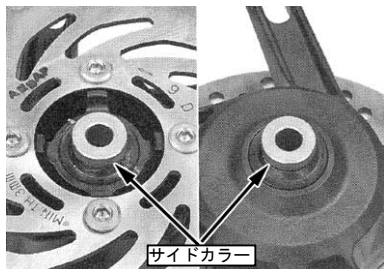
○アクスルナットを緩めます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
アクスルナット
トルク：59N・m (6.0kgf・m)



アクスルナット

○左右のサイドカラーを取り外します。

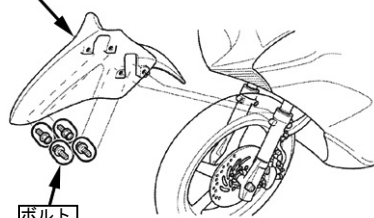


サイドカラー

○ボルトを外し、フロントフェンダーを取り外す。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

フロントフェンダー

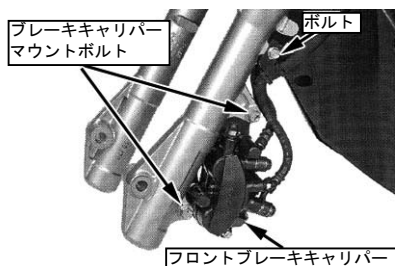


ボルト

○ボルトを外し、ブレーキホースクランプを取り外します。ブレーキキャリパーマウントボルトを外し、フロントブレーキキャリパーをフォークから取り外します。

※ブレーキキャリパーマウントボルトは新品に交換するか、又はネジロック剤を塗布して使用して下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：30N・m (3.1kgf・m)



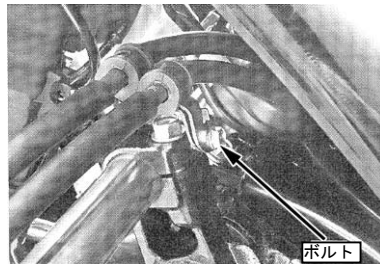
ボルト

ブレーキキャリパーマウントボルト

フロントブレーキキャリパー

○JF81/KF30以外の車両は、ステム部のボルトを外し、ブレーキホースクランプを外します。

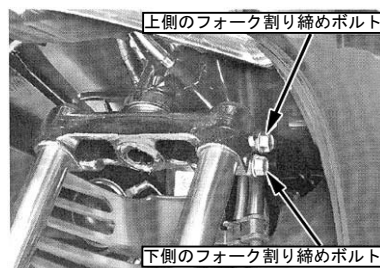
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



ボルト

○上側のフォーク割締めボルトを取り外します。下側のフォーク割締めボルトを緩め、フォークをステムから取り外します。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
割締めボルト
トルク：49N・m (5.0kgf・m)



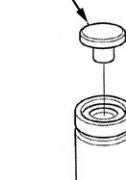
上側のフォーク割締めボルト

下側のフォーク割締めボルト

○JF28-1000001～1099999の車両はフォークキャップを取り外します。

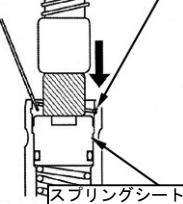
○スプリングシートを押し込み、ストッパーリングをフォークチューブから取り外します。

フォークキャップ



JF28-1000001～1099999の車両の場合

ストッパーリング



スプリングシート

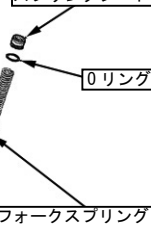
○スプリングシート、フォークスプリングをフォークチューブから取り外します。

○Oリングをスプリングシートから取り外します。JF81/KF30の車両の場合、スプリングカラーとスプリングプレートを取り外します。

フォークチューブ



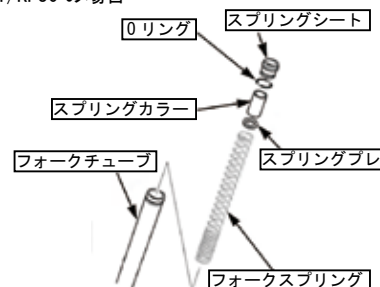
スプリングシート



Oリング

フォークスプリング

JF81/KF30の場合



Oリング

スプリングシート

スプリングカラー

スプリングプレート

フォークチューブ

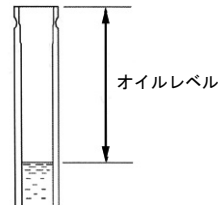
フォークスプリング

○規定量を目安にフォークオイルを注入します。推奨フォークオイル

：Honda ウルトラクッションオイル 10W
オイル量
：JF81/KF30の車両は、136 ± 2.5cm³
：JF28/JF56/KF12/KF18の車両は、118 ± 2.5cm³
フォークチューブを数回静かに伸縮させて混入しているエアを抜きます。

○フォークチューブを一杯に縮めた状態にし、オイル面が安定するのを待ってからオイルレベルを測定します。

オイルレベル
：JF81/KF30の車両は、52mm
：JF28/JF56/KF12/KF18の車両は、75mm



オイルレベル

○フォークチューブを一杯に伸ばした状態にします。ピッチの狭い側を下に向け、フォークスプリングをフォークチューブ内に取り付けます。

Oリングは新品を推奨しますが、再利用する場合は十分に点検し、問題ない事を確認した上でフォークオイルを塗布し、スプリングシートの溝に取り付けます。JF81/KF30の車両の場合、同梱しているカラーを装着する必要があります。

下記のダウン量を参照しながら、カラーを選定して装着して下さい。純正スプリングカラーと純正スプリングプレートは使用しませんので、無くさないよう保管して下さい。

フォークチューブ



スプリングシート

Oリング

フォークスプリング

ピッチの狭い側

※同梱しているカラーを使用する事によりローダウン量を変更する事が出来ます。カラーはスプリングの上に入れて下さい。

[JF81/KF30の車両の場合]

カラー 10mm : 約 40mm ダウン

カラー 20mm : 約 33mm ダウン

カラー 10mm+20mm : 約 26mm ダウン

[JF28/JF56/KF12/KF18の車両の場合]

カラー無し : 約 40mm ダウン

カラー 10mm : 約 33mm ダウン

カラー 20mm : 約 26mm ダウン

カラー 10mm+20mm : 約 18mm ダウン

ローダウン量は目安です。乗車する人の体重やリアショックの長さにより変わります。

※JF81/KF30の車両の場合、カラー無しの設定はありません。ご注意下さい。

上記のダウン量を参照しながら、同梱しているカラーを選定して装着して下さい。

○取り外しと逆手順で取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

※車高が下がり、光軸が変わりますので、全ての作業が完了したら、光軸確認を行って下さい。